

栃木県 様

道路パトロール 支援サービス 導入事例

パトロール業務の民間委託に
情報共有基盤として活用

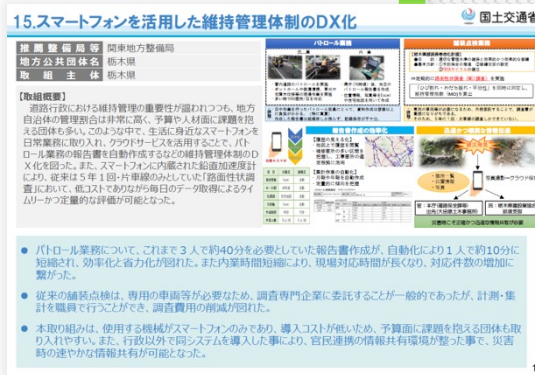
富士通Japan株式会社

取り組みテーマ

巡回業務の報告書作成に係る時間削減と 委託する民間との情報共有基盤として活用

道路の舗装点検のパトロール業務において、道路パトロール支援サービスを活用いただき、報告書を自動作成するなどの維持管理体制のDX化を推進し、「路面性状調査」において、低コストでありながら毎日のデータ取得によるタイムリーかつ定量的な評価を可能としました。

栃木県様の取り組みは、i-Construction推進コンソーシアムよりベストプラクティスとして、令和3年度の国土交通大臣賞を受賞いたしました。



効果1

情報基盤によるデータ共有の迅速化
パトロール業務を委託する民間と共有し
情報伝達を確実かつ迅速に実施

導入 効果

効果2

パトロール後の
業務効率化

日報作成の自動化により
作成時間の大幅削減を
実現

パトロール業務のデジタルトランスフォーメーション

スマートフォンを活用したクラウドサービスを導入し、日常の維持管理体制におけるデジタルトランスフォーメーションを推進しました。

課題

- パトロール業務後の報告書作成業務を効率化し、時間短縮を図りたい

施策と効果

- スマートフォン活用により、3人で40分要していた報告書作成業務を1人で10分に短縮
- クラウドを活用したデータのリアルタイム化により、委託先との情報共有基盤を実現

ソリューションポイント

POINT 1

必要な位置図、パトロール経路などの情報は報告書に自動貼付され、特別な操作が不要

POINT 2

業務内容を委託先と共有することで、修繕作業の依頼などもスムーズかつ正確に伝達が可能

POINT 3

作業履歴の可視化や集計作業の自動化で、過去の傾向が把握可能



出典：令和3年度i-Construction
大賞受賞者取組内容より

インフラメンテナンスにおけるDXソリューション
道路パトロール支援サービス

<https://www.fujitsu.com/jp/group/fjj/solutions/industry/local-government/road/>

富士通 J a p a n 株式会社

お客様総合センター 0120-835-554

受付時間 平日9時～17時30分

(土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く)